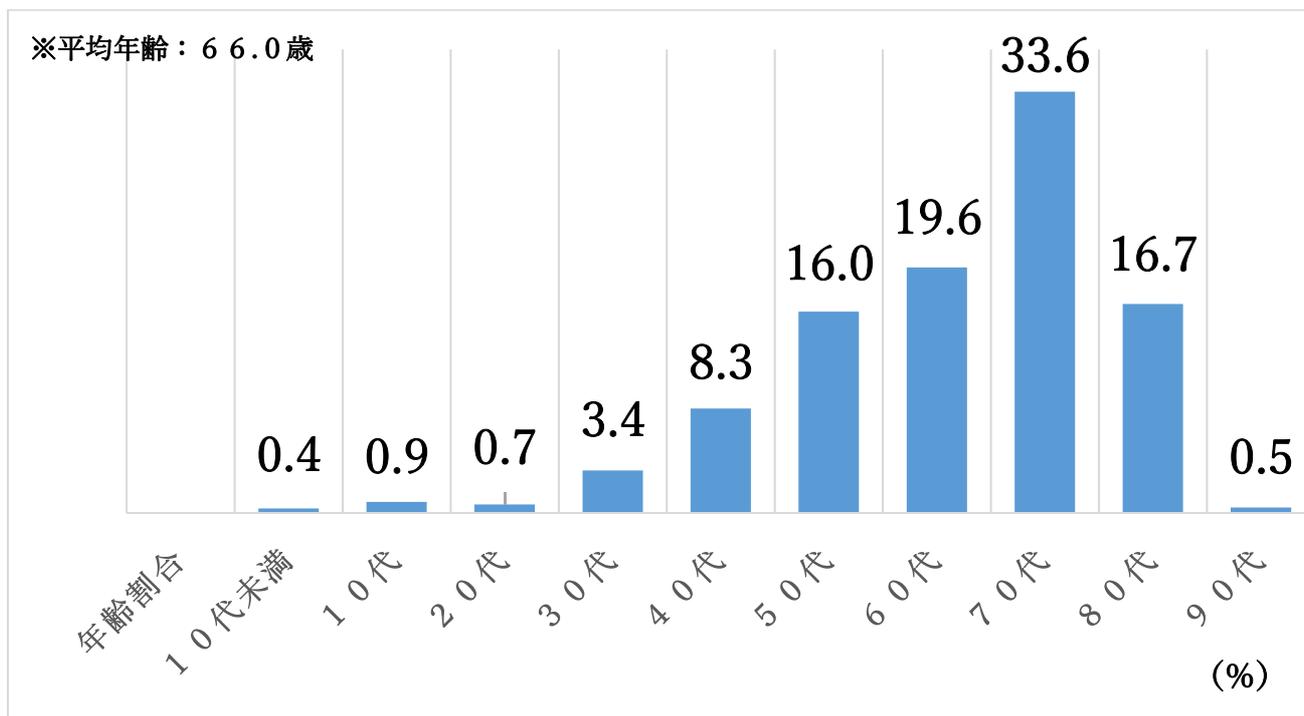
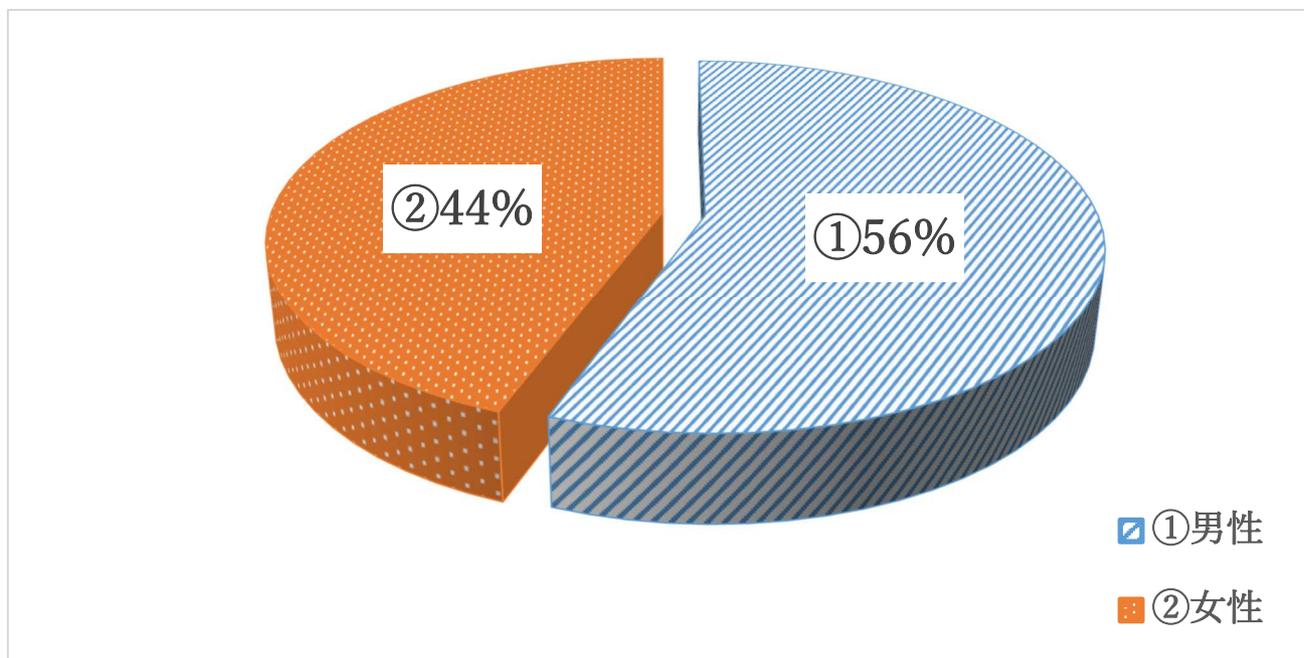


令和6年度 船橋市総合防災訓練アンケート集計結果（町会・自治会版）

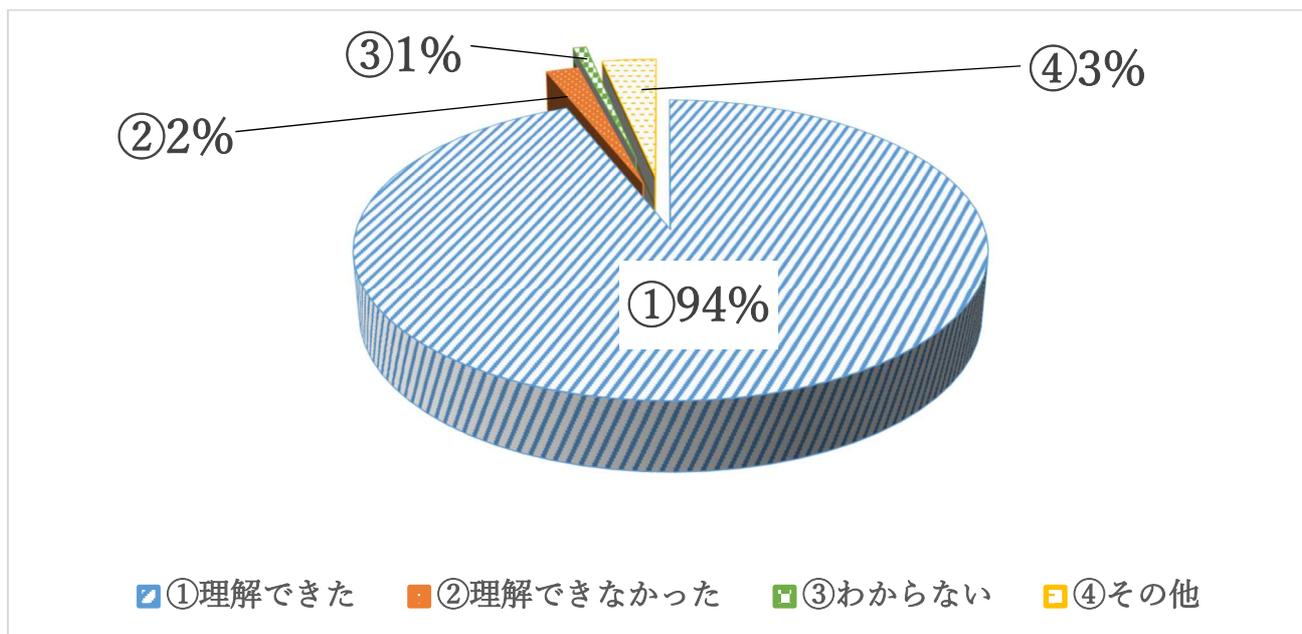
1, 参加者年齢割合について



2, 参加者性別割合について



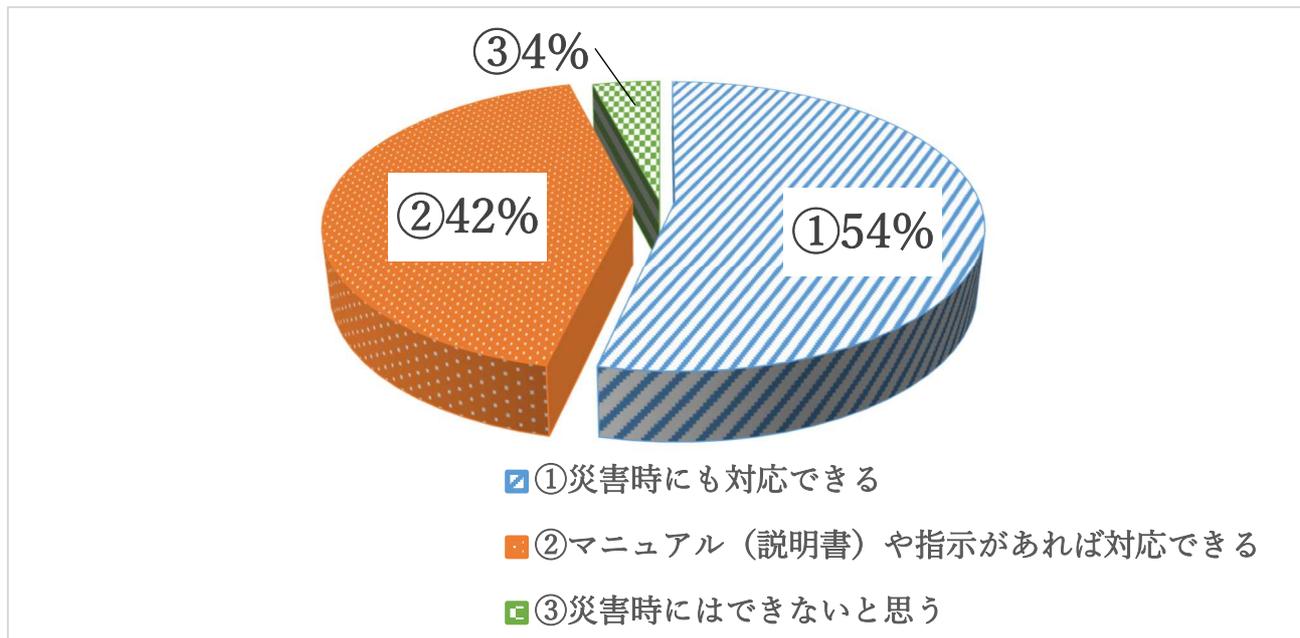
3, 上映動画について



※その他理由

- ・内容が早くてわからない、音量が小さく画面が不鮮明、マイクの声がこもり聞き取りにくかった。
- ・避難時に上履きをもって避難所へ行くという事柄。
- ・子供向け動画もあると良い
- ・人が多く見えない
- ・受付の開設を市職員が実施してくれるものと誤解される
- ・ゾーニングとかをわかりやすい言葉で説明してほしい。年寄りにはわからない人がいると思う。
- ・スライドの字が細かくて見づらい。配布資料があった方が良い。もう少し観易く作ってほしい
- ・一般市民向けのビデオではないような気がする。

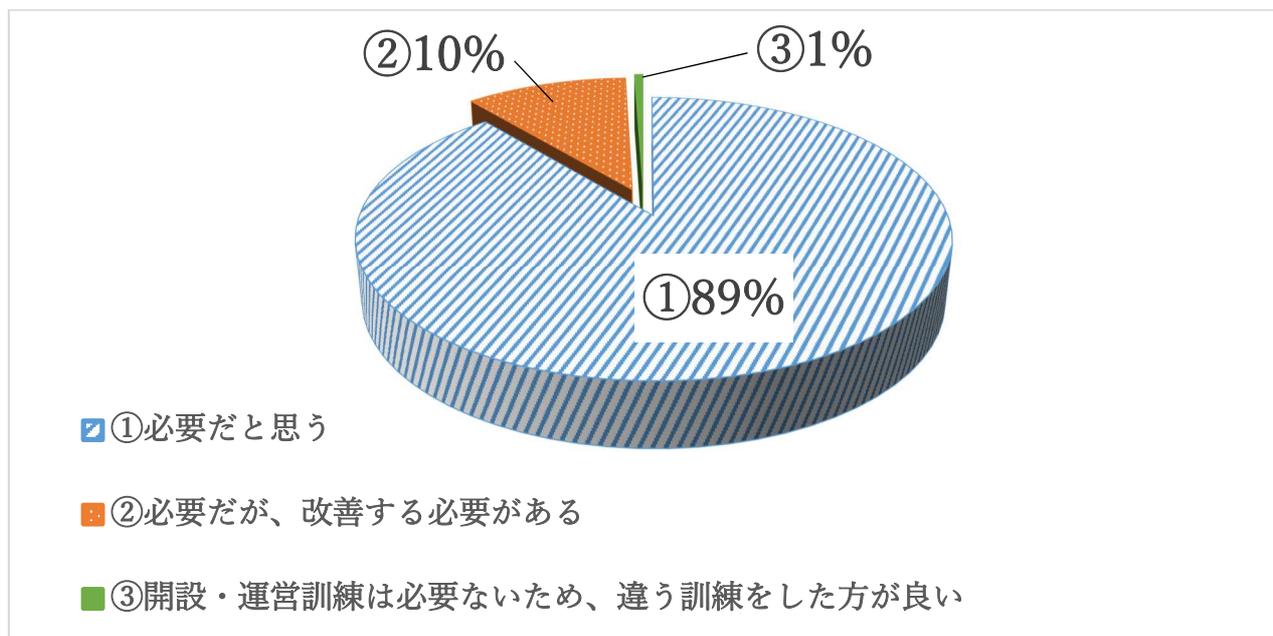
4、総合防災訓練に参加したことで、災害に見舞われた際の行動につながると感じたかについて



※災害時にできない理由

- ・混乱している状態で落ち着いた対応は難しい、大規模災害時は何もできない、マニュアル通りにはいかない
- ・年5回くらい訓練しないとわからない
- ・参加者が少なく臨場感がない
- ・年齢的、体の具合、現実的に難しい
- ・住民が無知、市や町会の考えが市民に届いていない
- ・受け入れ態勢が未熟、訓練になっていない、少ない人数でも受入れに30分かかった。日ごろの人と人とのつながりや指示を出す人が必要。
- ・避難所が遠く、行けるかわからない
- ・全世帯に落とし込みができないと思う。
- ・マンションやアパートが増えて協力体制がとれないと思う。
- ・避難所運営委員会の設立が必要

5, 避難所開設・運営訓練の必要性について



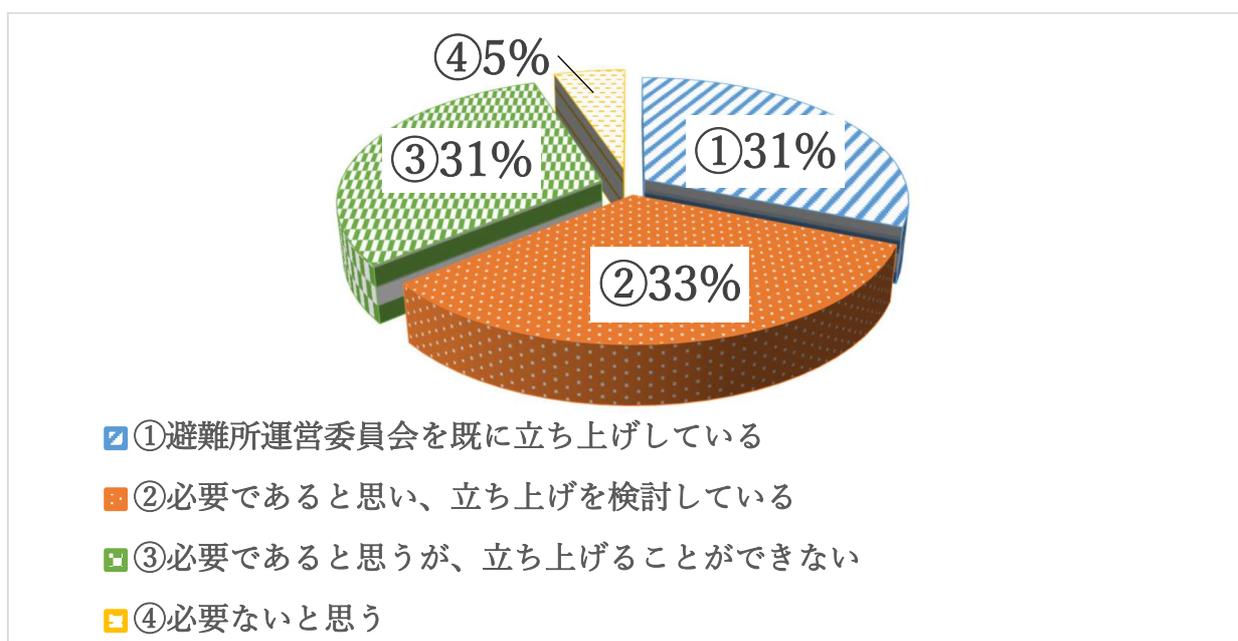
※改善点

- ・ 訓練内容の事前周知。全体のレイアウトを参加者にも共有（校門からの案内表）。
- ・ 記載書類を簡素化し、記入内容をわかりやすくすれば、受付時間が短縮出来る。
- ・ 停電・水道使用不可を想定する。ビニール袋と手拭きシート等を準備

※必要だと思う違う訓練

- ・ 被災時の行動シミュレーション
- ・ 在宅避難の訓練
- ・ 津波対策や高波対策の訓練

6、避難所運営委員会を設立する必要があると思いますか



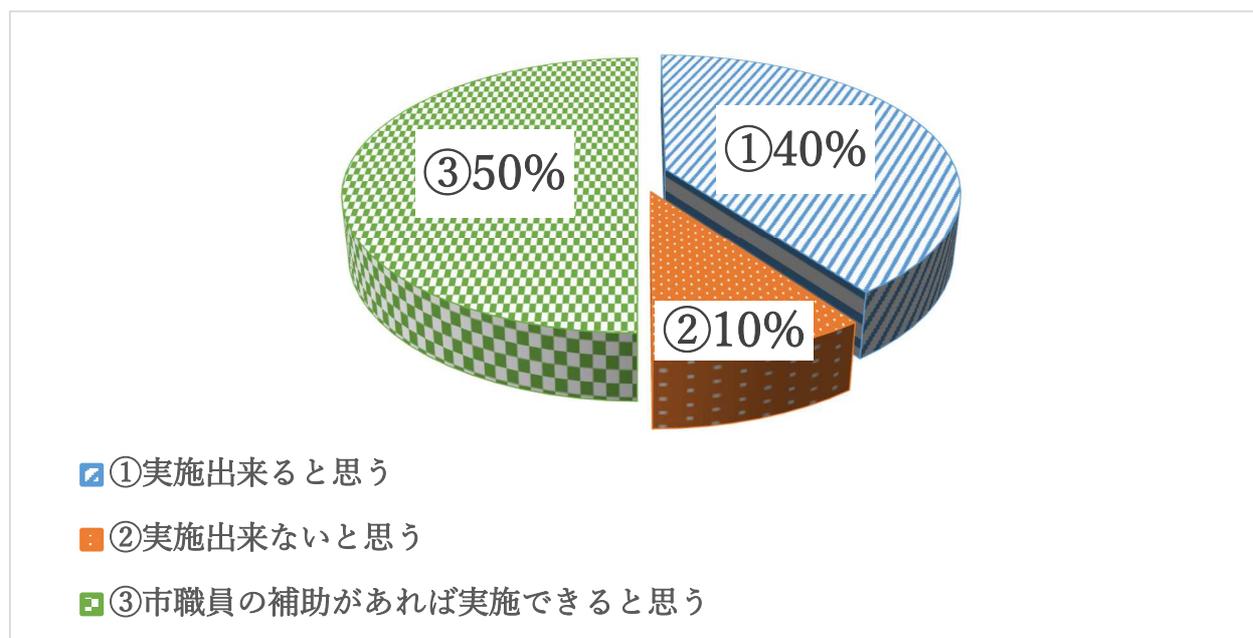
※1 必要であると思うが、立ち上げることができない理由

- ・複数の自治会にまたがっており、予算もない
- ・どのように進めるかわからない
- ・避難所まで遠い。
- ・組織が小さい、人員確保が難しい、高齢化
- ・立ち上げることができないか不明。人事で主体がよくわからない
- ・毎年役員が変わるし、町会が複数になる場合は仕切り役がおらず、話し合いができていない。日常的連絡体制が未確立のため。
- ・現在対象外のため（県立船橋古和釜高校）
- ・1つの町会だけでは難しい、他町会と協同でないと無理、市で立ち上げているのを待っている
- ・順番に検討中
- ・危機管理課がやるべき
- ・自宅を避難とする方が安全。在宅避難が基本のため
- ・仕事をしている人が多いため難しい
- ・運営委員会よりも個々が行うことを知って避難所で何をするか学ぶことが必要。
- ・まとまりなく難しい
- ・防災に関心が無い人が多く、強制的に人選して行うのは難しい

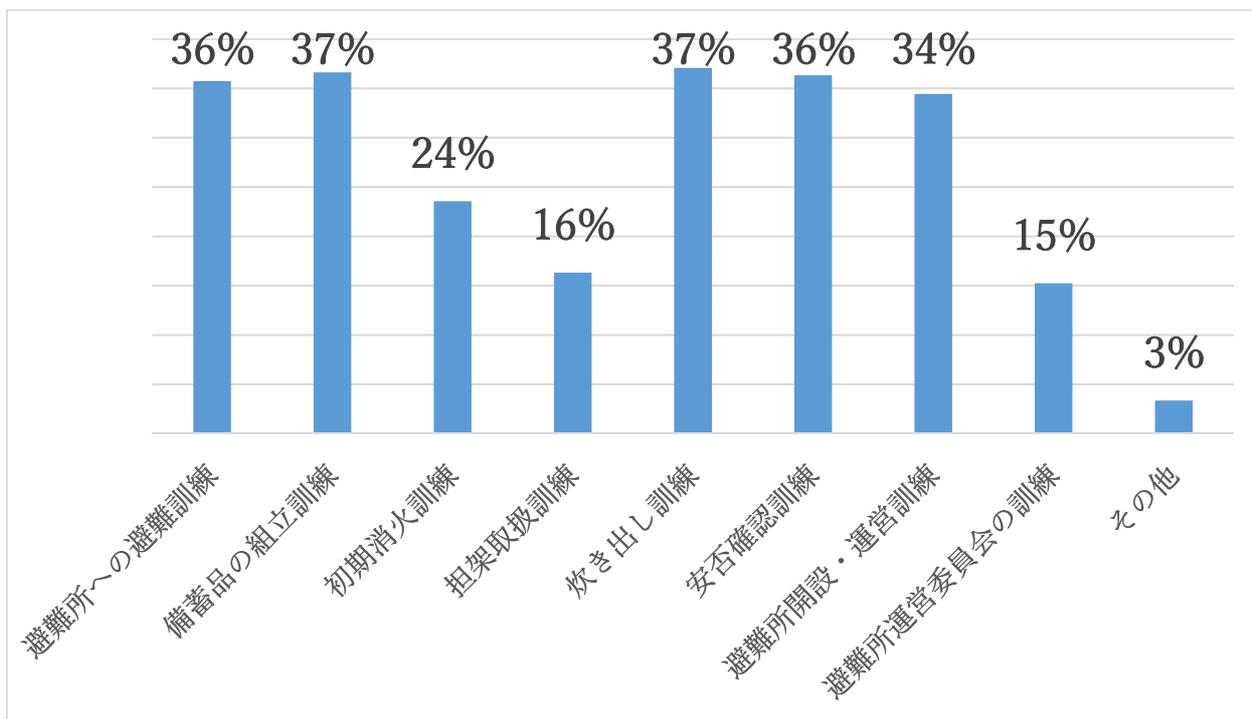
※ 2 必要ないと思う理由

- ・既存の委員会があるため。
- ・マンション独自の拠点を設置。
- ・訓練を重ねていれば、ある程度は対応できる。
- ・高齢者多数の為歩いていけない。もう少し近い所に避難所を作ってほしい。
- ・発災時で間に合う。
- ・避難所を開くほどの力はないため。
- ・在宅避難を強化すべき、在宅避難が前提。
- ・実際は自主防災組織がやるから必要ない。
- ・その時の避難者で運営するしかないのではないか。
- ・小規模の自治会のため。
- ・市でやってくれ。
- ・どこで被災するかわからない。
- ・マニュアルがあれば良い。

7、避難所運営委員会が設立された場合、各町会・自治会が主体となり業務班ごと訓練を実施出来るかについて



8, 今後実施したい訓練について（複数回答可）



※その他項目

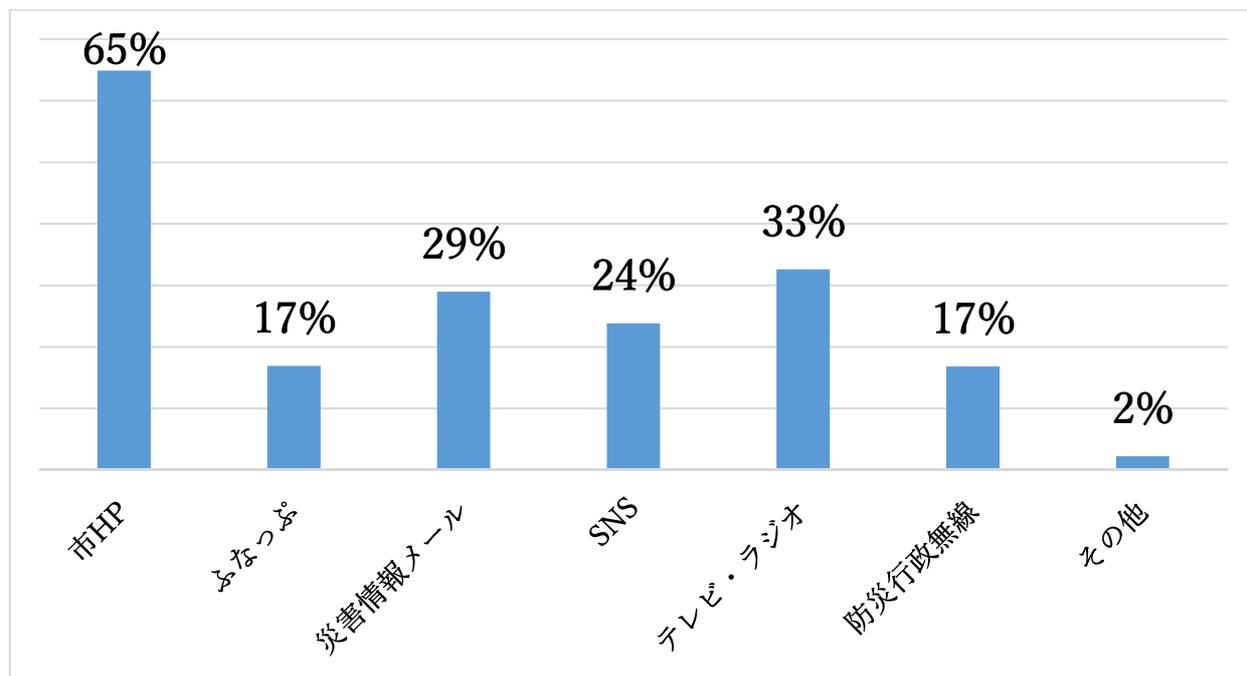
- ・身体障害者の対応訓練
- ・高校への避難訓練
- ・要配慮者訓練
- ・応急救護訓練に関する訓練
- ・各自による防災対策のディスカッション
- ・自宅避難のキモと課題
- ・DIG
- ・ペット同行避難
- ・浸水訓練
- ・マンホールトイレ、段ボールベッド、テント
- ・夜間の災害を想定した訓練
- ・図上訓練
- ・水や食料の搬入訓練、障害者への気遣いやかんたんな手話等、在宅避難
- ・ゾーニングや衛生面についての知識

9, 地域で独自に行っている防災の取り組みについて

- ・ 防災組織の編成と運用
- ・ 地区内の班長が消火器を管理
- ・ イベントでの防災広報
- ・ アルファ化米等の炊き出し訓練と試食
- ・ 消防訓練
- ・ 公園の防災トイレ設置訓練
- ・ 安否確認訓練（タオル・フラッグ）
- ・ 発動発電機使用訓練
- ・ 家庭への消火器の配布
- ・ 消防団と連携した夜警活動
- ・ スタンドパイプ消火訓練
- ・ 防災センター等の見学
- ・ 複数町会との合同防災訓練
- ・ 共用たき木の確保と備蓄
- ・ 防衛団の組織結成
- ・ 防災グッズや防災ポスターの作成・配布
- ・ PTA で授業参観後に防災セミナーを実施
- ・ 町会のグループチャットを作成
- ・ 公民館との合同訓練
- ・ 防災士資格取得

令和6年度 船橋市総合防災訓練アンケート集計結果（町会・自治会版）

10, 防災情報の確認方法について（複数回答可）



11, ご意見・ご要望について

（1）訓練全般について

- ・市職員の声が小さい。指示が不鮮明。せっかく訓練しているのにわからない。
 - ・以前参加したが、今回の方が良かった。動画など訓練の説明がわかりやすかった。
 - ・お米の準備の説明が見えづらく、説明も聞こえにくかった。動画にした方が良いと思う。
 - ・グループホーム職員と利用者様と参加しました。受付方法や避難所の様子を知ることができ、今後の対策に活かしていきたいと思います。
 - ・セレモニー感が強すぎる。
 - ・ペットに関する説明が欲しかった。
 - ・受け付けを待っている間に、待っている理由等のアナウンスや説明があると良いと思う。
- コミュニケーションで不安解消を図れると思う。
- ・もう少しコンパクトな、緊張感のある訓練を計画してもらいたい。
 - ・一昨年、昨年と違う訓練が出来て勉強になった。
 - ・開催場所がわからず、室内場所の提示か案内人の待ち受けが欲しかった。
 - ・受け付けは、体育館に入ってからでも良いかと思う。天候を考慮した対応が必要。

令和6年度 船橋市総合防災訓練アンケート集計結果（町会・自治会版）

- ・訓練の意識が低い。
- ・訓練は定期的に行った方が良い。災害が起きた場合、混乱すると思うので、訓練は積み重ねる必要があると思う。反復訓練が危機感を持ち続けられる方法である。
- ・初めて参加しましたが、どのように避難所が立ち上げられるのかイメージすることができませんでした。
- ・避難者一人一人が運営者だと思って活動できるように意識改革をすることも必要だと感じた。
- ・資料をひたすらみてしゃべっているため、何を言っているかわからなく残念。
- ・在宅避難の場合にも避難所での登録が必要なことを知れてよかった。
- ・在宅避難をする際の備え等について説明があればよかった。
- ・実際、災害にあわれた方の声等が災害時の訓練に反映されるとよいかと思います。
- ・実際の地震・災害（神戸、東日本、能登などの）避難者の情報がわかる映像を見せてほしいと思います。
- ・実災害時は、町会内の土地勘がある人の助けが必要不可欠である。
- ・3時間は長くて参加をためらうひとがいるので2時間くらいで終われたらと思います。

（2）訓練動画について

- ・ビデオの音が小さいため、聞き取りにくかった。
- ・動画は市のHPで見られるとありがたい。
- ・画面の位置を考えてもらいたい。

（3）訓練方法や訓練時期について

- ・11月末の体育館での訓練は寒いので春か秋にしてほしい。
- ・デジタル簡易無線の活用をする訓練が欲しい。
- ・より実際に起きた状態を想定した内容での訓練をした方が良いと思う。消火訓練も本物の消火器を使用し、圧力とかを実感出来るようにする。
- ・子供向けの訓練イベントがあると良いと思う。
- ・各避難所に1人は女性が必要。女性の問題に対する対応は女性職員が対応していただきたい。
- ・避難所が開いてからの訓練であったが、開錠や事前準備についても確認をしておきたい。

令和6年度 船橋市総合防災訓練アンケート集計結果（町会・自治会版）

- ・実技訓練に時間を掛けてほしい。
- ・非常食の説明時、PCとプロジェクターでスライドを表示する等あれば見やすかった。

（4）訓練参加者について

- ・たくさんの方がもっと参加出来たらいいと思います。参加者が増えれば顔の見える関係が築ける。
- ・グラウンド使用不可とし、参加者を増やした方が良い。
- ・一般参加者が少ないのが残念。
- ・高齢化、人の繋がりが薄れている現代での防災体制に難しさを感じる。

（5）訓練の広報や案内について

- ・もっと多くの方が参加できるようもっと広報をするべきであるし、自治会でもさらに声かけをしていきたい。
- ・訓練に限らず、もっと防災意識を高める活動をした方が良い。
- ・張り紙もなくどこに行けばいいのかわからず困りました。張り紙が欲しかった。

（6）備蓄品等の避難施設について

- ・アルファ米の試食が出来て良かったです。買っておこうと思いました。
- ・トイレ（災害用）に関する情報、避難所の対応は良く理解できた。
- ・トイレの保有数、実際の災害で対応できるか不安です。
- ・ごみ集積場所の説明があったが、もっと適切な場所を選定するべきである。
- ・台湾のようなプライベートが保てるスペースがほしい。
- ・避難所へ車の乗り入れ禁止であれば、入口に何かしらの規制や案内が必要だと思う。
- ・靴や雨具を入れられるビニール袋があると良いと思う。

（7）消防職員指導による訓練について

- ・説明も上手でとても参考になりました。消防のみなさん、ありがとうございました。
- ・今回参加してよかったのは毛布担架の作り方、消火器の使い方がわかったことです。

（8）その他

- ・防災行政無線が聞こえない。
- ・マニュアルや市職員の指示がないと、年配の方が多いため、難しいと思います。
- ・資機材組み立て用のマニュアルを各家庭に欲しい。
- ・もっと皆に興味をもってほしい。どうしたらいいか思案しています。忘れてはいけない

令和6年度 船橋市総合防災訓練アンケート集計結果（町会・自治会版）

と思います。

- ・やはり、有事の時は自助努力しかない。
- ・リーダーがしっかりしていればそれでよい。
- ・意識が高まった。
- ・運営委員会は早急に必要だが、他町会との足並みが揃えられない。
- ・去年も参加しましたが、また新しい内容で勉強になりました。
- ・訓練になってない。（台湾を見習ってほしい）指示する方が質問してもわからないし、受付する方も今日が初めてなのでわからないので、連携が取れてない。トップと支持する方は全て把握されており、てきぱき指示できるように。
- ・役割を決める住所を担当、受付担当、トイレ担当等一般の方にやっていただくとか、もっと具体的にやらないと当日パニックになる。
- ・南海トラフを見越すと自助・共助につながる取り組みは重要と思います。
- ・携帯トイレの配布を依頼。
- ・携帯電話が使えない時の対応、個人の薬関係は持参できなかった場合について知りたい。
- ・古い建物の為、安全性が心配。
- ・公助の対応が少ないことを教えるべき。自助努力の向上が必要。
- ・行政と町会協働で訓練ができ良かったです。
- ・自分でもやれば出来るかもと思いました。出来る事はお手伝いします。
- ・今回参加したことで、身近に災害（防災）訓練が必要であると思いました。
- ・手当り次第、身の回りあるもので使えるアイデアは今後ももっと学びたい。
- ・体育館内に入る前に、上靴の用意の表示が必要。その他の表示もこの訓練中に一角でも表示の仕方、壁に張るなどの用意がされていないと皆さんで災害時にサッと動くことができない。
- ・体調不良者は可能な限り、在宅避難とした方が良いと思います。
- ・やってみなければ分からないことがあると感じました。
- ・発災時、眼鏡を忘れたことを想定し、もう少し字を大きくしてほしい。
- ・避難後の心のケアについて知りたい。
- ・避難者カードや受付票は記入を極力少なく選択式が良いと思いました。
- ・避難所運営委員会について具体的に知りたい。

令和6年度 船橋市総合防災訓練アンケート集計結果（町会・自治会版）

- ・ 備蓄について、倉庫の見学等を実施したい。
- ・ 世帯で必要なもの一式を展示してほしい。
- ・ 避難時に屋内履きを持ってくるほどの余裕はないため、ブルーシートを敷いたり、スリッパを用意したりする必要がある。
- ・ 避難所運営員会は、順番に担当者を変え誰しもがやるべき事を把握できるようにするべきである。